



第57期 中間株主通信

2025年4月1日 ▶ 2025年9月30日

p.01 **トップメッセージ** 高見澤 和夫

p.03 **主要製品の概況**

p.04 **トピックス**

TOPICS
1

環境省新宿御苑管理事務所様に当社の
入園管理システムを導入しました。

TOPICS
2

オープン温度試験槽OTCシリーズが
リニューアルしました。

p.05 **中間連結財務諸表**

p.06 **会社の概要**

株式の状況 / 役員の状況

株式会社 **高見沢 サイバネテック**

証券コード：6424



世の中に必要不可欠な会社を 目指して

平素は格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの第57期中間（2025年4月1日から2025年9月30日まで）営業の概況及び決算の諸事項につき、次のとおりご報告申し上げます。

当中間連結会計期間における我が国経済は、緩やかな回復傾向が見られるものの、物価の上昇が続いていることに加え、米国の通商政策等による景気の下振れリスクが存在し、引き続き先行き不透明な状況が続きました。

この様な経済環境のもと、当連結グループは、交通システム機器、メカトロ機器、特機システム機器の各部門において営業活動を展開してまいりました。その結果、当中間連結会計期間にお

代表取締役社長

高見澤和夫

きましては、交通システム機器部門の出改札機器及びホームドアで計画の一部が前倒しされたこと、また、特機システム機器部門の防災計測システムが堅調に推移したことなどにより、当初計画を上回るペースで進捗いたしました。一方、前年同期には出改札機器の大口案件や新紙幣発行に関連する売上が交通システム機器及びメカトロ機器に含まれていたことにより、当期は当中間連結会計期間と比べ減収・減益となりました。

以上により、売上高57億1千万円（前年同期比21%減）、営業利益3千5百万円（前年同期は6億6千3百万円の利益）、経常利益3千4百万円（同6億4千9百万円の利益）、親会社株主に帰属する中間純利益3千1百万円（同4億4千4百万円の利益）となりました。

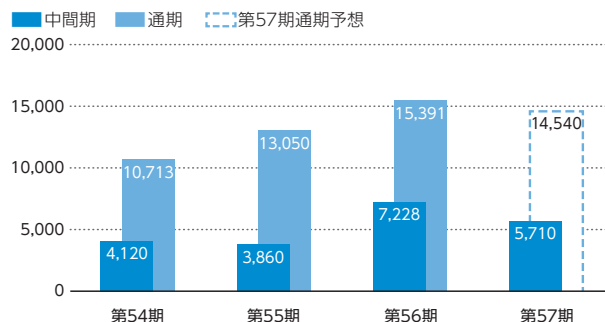
当社グループは、「世の中に必要不可欠な会社」を目指すことを経営理念として掲げております。今後も「安全」「決済」「メカトロ・EM」をキーワードに社会インフラの分野で私たちの生活に必要不可欠な製品・システムを提供してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。

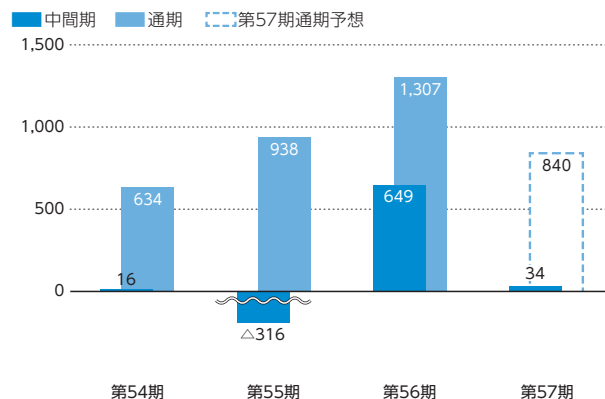
2025年12月

連結業績ハイライト ※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

売上高 （単位：百万円）



経常利益 （単位：百万円）



主要製品の概況



交通システム機器（交通事業者様向け機器）

交通システム機器部門では、交通事業者様向け乗車券自動券売機・自動精算機・ICカードチャージ機等の「出改札関連機器」、扉が横方向にスライドして開閉するタイプの可動式ホームドアや、3本のバーが上下方向に動いて開閉するタイプの昇降バー式ホーム柵等の「ホームドアシステム」を開発・製造・販売しております。

当中間事業年度におきましては、出改札機器及びホームドアで計画の一部が前倒しとなり、計画に対して売上が増加いたしました。一方、前年同期は出改札機器の大型案件や新紙幣発行対応等により例年に比べ売上が増加していたため、売上高は30億3千5百万円（前年同期比16.6%減）となりました。



メカトロ機器（装置メーカー様向け機器）

メカトロ機器部門では、当社独自のコア技術であるTicket：チケット、Bill：紙幣、Coin：硬貨、Card：カード処理技術を応用したユニット製品を開発・製造し、金融機関向けATMや駐車場の精算機等を製造する国内外の装置メーカーに販売しています。

当中間事業年度におきましては、前年同期には新紙幣改刷に伴う機器の入替え需要等の特殊要因が存在していたため、売上高は8億7百万円（同50.4%減）となりました。



特機システム機器（一般市場向け機器）

特機システム機器部門では、セキュリティシステム・防災計測システム・パーキングシステムの開発・製造・販売をしております。

セキュリティシステムでは、オフィスや工場などのセキュリティゲートを主力製品としています。また、レジャー施設などで、入場券発売機などの機器とセキュリティゲートを組み合わせて来場者管理を行なう「入退場管理システム」も扱っております。

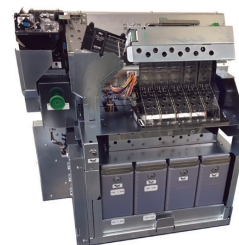
防災計測システムでは、特定の場所に備え付けて震度を計測する「設置型地震計」、レスキュー隊が地震被災地に持ち込み、余震による二次被害を防止する「可搬型早期警報地震計」、列車やエレベーターなどの運行システムと連携し、大きな揺れが到達する前に機器の動きを停止させ、被害の軽減に役立つ「早期地震警報システム」を扱っております。



自動券売機
(九州旅客鉄道株式会社様 博多駅)



ホームドア
(小田急電鉄株式会社様 喜多見駅)



グローバルコインユニット



セキュリティゲート
(IDECファクトリーソリューションズ株式会社様 大学図書館ゲート)

パーキングシステムでは、駐輪場管理システムの製品として、電磁ラック式駐輪システム、ゲート式駐輪システム、自動精算機等を扱っております。また、グループ会社である㈱高見沢サービスにおきましては、駐輪場運営管理業務を行っております。

当中間事業年度におきましては、前年同期と比べセキュリティシステム及びパーキングシステムの売上が減少しましたが、防災計測機器が堅調に推移したことにより、売上高は8億9千1百万円（同3.8%減）となりました。



ゲート式駐輪場管理システム
(自転車駐車場整備センター様
ひばりヶ丘駅南口自転車駐車場)

TOPICS



01

環境省新宿御苑管理事務所様に当社の 入園管理システムを導入しました。

新宿御苑様では、来園者の増加に伴い混雑緩和やキャッシュレス決済の機能改善等が急務となっており、利用環境の維持・向上のため、当社の入園管理システムをご採用いただきました。

入園時は、自動券売機で購入されたQRチケットおよびWeb販売サービスで購入された電子チケットによる入園のほか、交通系ICカードを自動ゲートにかざすことで直接入園いただくことも可能です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

02

オープン温度試験槽 OTCシリーズがリニューアルしました。

主に研究施設などでご採用いただいている当社のオープン温度試験槽は、温度を -25°C ～ $+80^{\circ}\text{C}$ の範囲で制御し、槽内で任意の機器の開発・試験・修理などにご利用いただいております。

この度、機器のリニューアルを実施し、指定温度への到達時間の短縮や使用冷媒をR-448Aに変更したことにより、地球温暖化係数を64%改善しました。当社は、今後もSDGsの達成に向けて環境に配慮したもののづくりに取り組んでまいります。



中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表(要旨)

(単位: 百万円)

科目	前連結 会計年度	当中間連結 会計期間
(資産の部)		
流動資産	11,853	9,354
現金及び預金	2,829	2,474
受取手形、売掛金及び契約資産	5,263	3,312
電子記録債権	772	174
棚卸資産	2,747	3,027
その他	241	365
固定資産	5,069	5,357
有形固定資産	2,562	2,461
無形固定資産	321	560
投資その他の資産	2,186	2,336
資産合計	16,922	14,712
(負債の部)		
流動負債	6,567	4,409
支払手形及び買掛金	2,011	1,575
短期借入金	2,490	1,363
その他	2,065	1,471
固定負債	4,317	4,237
負債合計	10,884	8,647
(純資産の部)		
株主資本	5,499	5,443
資本金	700	700
資本剰余金	722	722
利益剰余金	4,173	4,117
自己株式	△96	△96
その他の包括利益	539	621
純資産合計	6,038	6,065
負債・純資産合計	16,922	14,712

中間連結損益計算書(要旨)

(単位: 百万円)

科目	前中間連結 会計期間	当中間連結 会計期間
売上高	7,228	5,710
売上原価	5,197	4,150
売上総利益	2,030	1,560
販売費及び一般管理費	1,366	1,524
営業利益	663	35
営業外収益	22	39
営業外費用	36	40
経常利益	649	34
特別損失	0	1
税金等調整前中間純利益	648	33
法人税、住民税及び事業税	86	13
法人税等調整額	117	△11
親会社株主に帰属する中間純利益	444	31

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位: 百万円)

科目	前中間連結 会計期間	当中間連結 会計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー	232	1,051
投資活動によるキャッシュ・フロー	△302	△92
財務活動によるキャッシュ・フロー	△397	△1,314
現金及び現金同等物の増減額	△467	△355
現金及び現金同等物の期首残高	2,938	2,829
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,471	2,474

※詳細につきましては、当社ホームページをご覧ください。<https://www.tacy.co.jp/>

会社の概要 (2025年9月30日現在)

会社の概要

商 号	株式会社高見沢サイバネティックス
英文商号	TAKAMISAWA CYBERNETICS COMPANY,LTD.
設 立	1969年10月1日
資 本 金	700,700,000円
従 業 員	416名(単体)、570名(連結)

■ 主な事業内容

	区分	主要製品
電子制御機器	交通システム機器	自動券売機、定期券自動発売機、自動精算機、ICカード入金機、ICカード発売機（駅務用）、券印刷発行機、ホストシステム、ホームドアシステム 他
	メカトロ機器	硬貨処理関連機器、紙幣処理関連機器、カード処理関連機器、発券処理関連機器、OEM製品開発 他
	特機システム機器	パーキングシステム、セキュリティシステム、入退場管理システム、防災計測システム、コインゲート、カード発売機、オープン温度試験槽、各種計測器 他

役員の状況

[illegible]

※は独立役員

株式の状況

- 発行可能株式総数 14,800,000株
- 発行済株式の総数 4,525,000株
(自己株式126,432株を含む)
- 株主数 2,737名
- 大株主

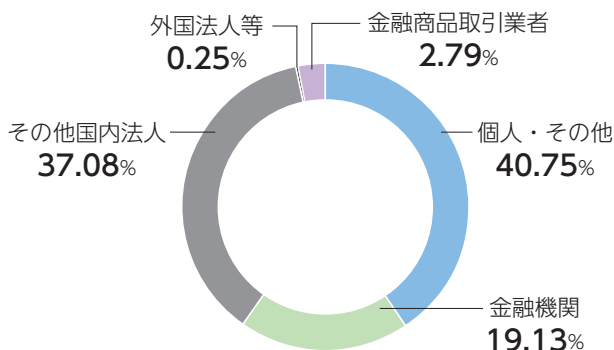
株主名	持株数	持株比率
富士電機株式会社	618千株	14.06%
富士通株式会社	416	9.47
みずほ信託銀行株式会社		
退職給付信託富士電機口	280	6.38
再信託受託者株式会社日本カストディ銀行		
富士通フロンテック株式会社	250	5.68
高見沢サイバネティックス従業員持株会	212	4.83
高見澤和夫	195	4.44
株式会社みずほ銀行	175	3.98
株式会社三菱UFJ銀行	100	2.27
株式会社常陽銀行	100	2.27
レシップホールディングス株式会社	100	2.27
株式会社パコーポレーション	100	2.27

(注) 1. 「みずほ信託銀行株式会社退職給付信託富士電機口再信託受託者株式会社日本カステディ銀行」名義の株式280千株は富士電機株式会社が保有する当社株式を退職給付信託として信託設定したものであり、議決権については、富士電機株式会社が指図権を留保しております。

2. 当社は、自己株式を126,432株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

3. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

●所有者別株式分布状況



株主メモ

■事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
■定時株主総会	毎年6月下旬
■基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当を行う場合 毎年9月30日
■株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
■郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)
■公告方法	電子公告 当社は公告を下記ホームページに掲載 しております。 https://www.tacy.co.jp

お知らせ

株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

証券会社の口座をご利用の株主様は、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座をご利用でない株主様は、三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

なお、お手続きの方法やよくあるご質問は、「よくあるご質問 (FAQ)」サイトでご確認いただけます。

よくあるご質問 (FAQ)

https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal



未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ホームページのご案内

高見沢サイバネティックス

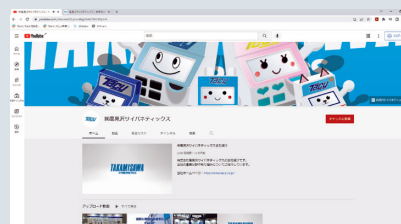
検索

高見沢グループの製品・サービス、最新ニュース、決算情報の詳細など、株主・投資家の皆様に役立つ情報をご覧いただけます。ぜひご利用ください。

トップページ <https://www.tacy.co.jp>



YouTubeチャンネル



株式会社 **高見沢サイバネティックス**

〒164-0011 東京都中野区中央2-48-5

TEL : 03-3227-3361 (代表)



本冊子は環境保全のため植物性インキで印刷しています。